

「学校と地域との協働活動」アンケート結果報告

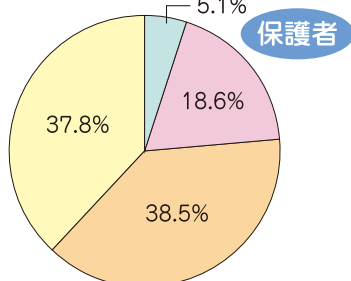
問 教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

回答率

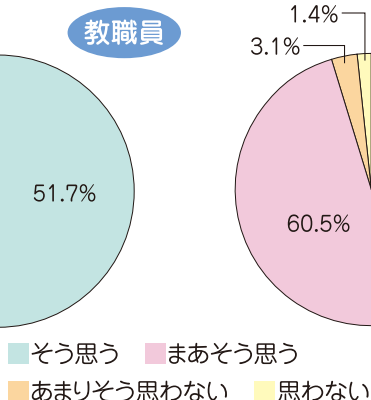
- ・小中学生96%
- ・保護者 62%
- ・教職員 100%

Q1 コミュニティ・スクールを知っていますか？

- 知っている
- まあ知っている
- あまり知らない
- 知らない



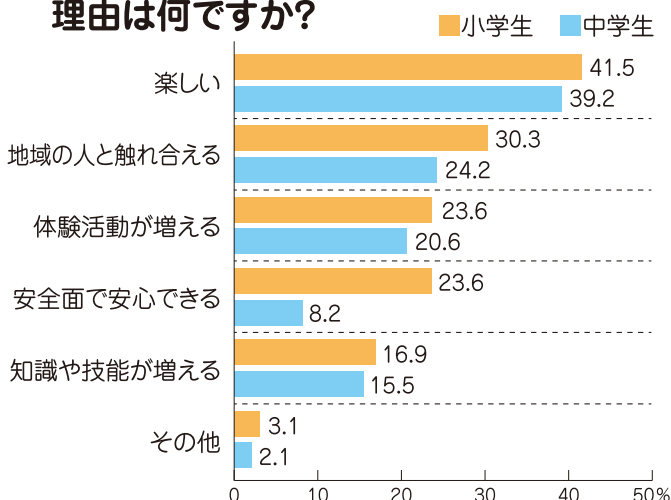
Q2 学校と地域との連携・協働は子どもにとって意義あることだと思いますか？



・保護者のコミュニティ・スクールへの認知度は3割に満たない。
 ・学校と地域との連携・協働について、9割以上の保護者、教職員が「意義がある」と思っている。

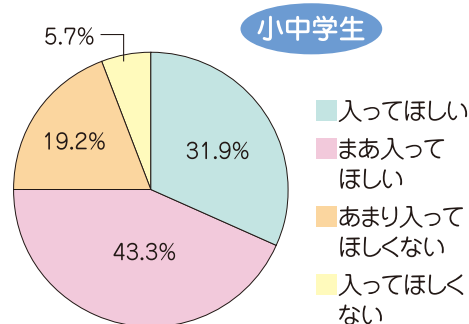
松田町社会教育委員会議では、令和7年4月からの「コミュニティ・スクール導入にあわせ、現状の把握や関係する方々の考えや思いなどを把握するため、令和6年10月に、小中学生、保護者、教職員の皆さんを対象にアンケートを行いましたので、その結果の概要を報告いたします。コミュニティ・スクール(CS)とは、学校と地域住民などが力を合わせ、子どものより良い環境づくりに取り組む「地域とともにある学校」を目指すための仕組みです。

Q4 家庭や地域の人に「入ってほしい」、「まあ入ってほしい」理由は何ですか？



・地域の人に入ってほしい理由として、「楽しい」、「地域の人と触れ合える」、「体験活動が増える」などが挙がっているが、中学生は「安全面で安心できる」が少ない。

Q3 学校の活動(校外学習、学校行事など)に家庭や地域の人が入ることについてどう思いますか？



・学校の活動に地域の人が入ることへの肯定的な回答の校種別内訳は、小学生約8割、中学生約7割となっている。